

草津 コミュニティ

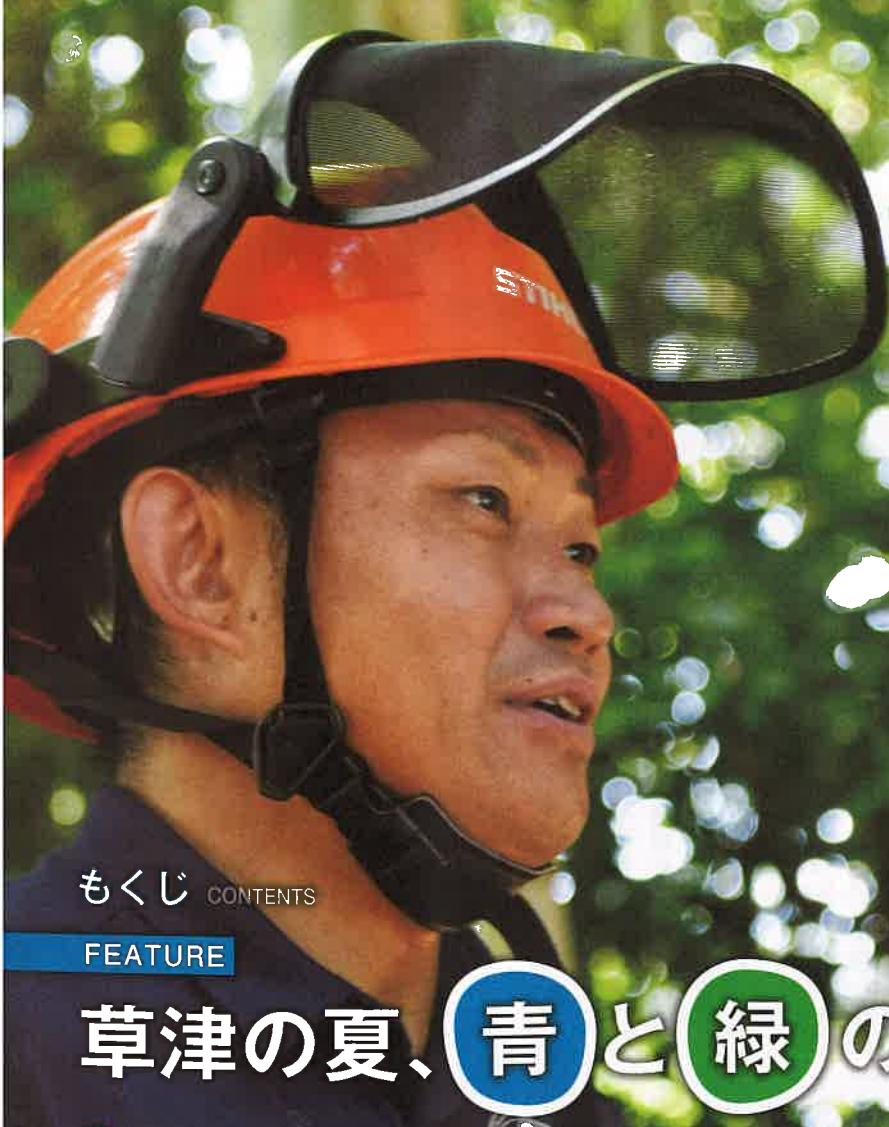
私と人とまちの間に

2023.AUG
136号

8

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団



もくじ CONTENTS

FEATURE

草津の夏、青と緑の物語。

- 2 草津の夏、とておきの青。 NPO法人「青花製彩」
- 4 涼やかに吹け、緑の風。 近江の竹となかまたち
- 6 まち語り 一枚の写真
- 7 ご近所さんが くさつがわ家とお隣さん～これって、みんなの問題～
事業団からのお知らせ
- 8 もじうめスッキリ
ボイス

竹、よろずのこと使いけり

見上げた木漏れ日が優しく降り注ぐ竹林。清々しく、涼やかに吹き抜ける風が夏の暑さを和らげてくれます。圧倒的な緑の中、今日も「近江の竹となかまたち」による手入れ作業が始まります。「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのこと使いひけり」。

現代版「草津の竹取物語」をどうぞ(P4)

夏の夜空を彩る花火。今年は「びわ湖大花火大会」も4年ぶりに開催されます。夜空に咲いた大輪が湖面に映る風景は幻想的ですね。見上げる華やかな花火もいいですが、線香花火もまた風情があるものです。線香花火の燃え方は「人の一生」を表しているのだとか。どちらの花火も楽しみたい夏です。

2023.AUG
136号

8

草津の夏、ひとひねりの青。

夏色の代表格と言えば青ですね。そして、ここ草津にはとうておきの青があります

そう、草津市の花「アオバナ」の青。草津のまちをこの青でいっぱいにしたい。食卓でもお店の料理やスイーツでも、草津の青を楽しんでもらいたい。そんな夢をもち、今日も額に汗する団体があります。NPO法人「青花製彩」。

「草津の夏、青と緑の物語」は青のおはなしから

夏の朝に咲く青い花

草津の人ならぜひ知つてもう
いたい「草津あおばな」。夏の朝
に咲く、小さくてかわいい花で
す。

その後、このアオハナから食後の血糖値の急激な上昇を緩やかにする成分などが発見され、食用製品への活用など草津あおばなの保存と活用が進められています。小中学生が毎日使う給食の食器にもプリントされているんですよ。

そこで峯松さんは試しにと自分で育ててみることに。

すつかりあおばなブルーに魅了された峯松さん。翌年にはなんとアオバナ農家の中村繁男さんに弟子入りしたのです。

でも、この青を活かせないか」。当時、アオバナの成分を抽出した粉末はあつたものの、それは茎葉からとつたもの。そう、青くはないかったのです。

できました。その見事な青は京
言葉で「うつし色」とも呼ばれて

ただ、この青を取り出すのは
大変です。毎朝、花びらを摘んで
は絞り、和紙に染み込ませてい

さから「地獄花」とも呼ばれてい
ました。

これも時代の流れか。やがて着物離れや化学染料に押され、染料としてのアオバナの需要が減るにつれ、アオバナ畑も姿を消してしまった。

草津の中でもアオバナの栽培が盛んだった下笠に住む峯松さんも、それまでアオバナのことはまったく知りませんでした。知れば知るほどスゴい花なのに、今では農家が3軒(当時)にまで減つていることを知り、さらにビックリ

忙しくも濃密な2年間を過ごした峯松さんは、ある思いがありました。「染料以外

新しい希望



幸好さん(29歳)

NPO法人
青花製彩 せい
さい



新しい希望が生まれた草津あおばな。次は生産を増やしていく必要があります。そこで応援してくれる仲間の後押しでNPO法人「青花製彩」を設立。草津あおばな館近くに1反(約1000m²)の畑を借りてアオバナ栽培を始めました。

「会社にしなかったのはアオバナで利益を追求するつもりがなかつたから。300年受け継がれてきた草津あおばなはみんなのものです。このアオバナで草津を盛り上げたい想いをカタチにするには、非営利組織であるNPO法人としての運営が合つてると考えました」

発想の逆転

地獄花とも呼ばれたアオバナで、300年受け継がれてきた草津あおばなはみんなのものです。このアオバナで草津を盛り上げたい想いをカタチにするには、非営利組織であるNPO法人としての運営が合つてると考えました。

そこで発想を逆転。せっかくなら市民の皆さんに摘んでもらうたらどうか、そして、摘んだ重さに応じて報酬を出させてもらおう。つまり有償のボランティア。すると、なんと毎日約50人の参加があったとか。コストのかかる作業をアクティビティとして市民の皆さんに体験してもらう見事な発想です。

の「青を取り出す」作業。とりわけ大変なのは花摘みです。1反と言えば、昔なら地域総出の広さ。なんとか省力化できないか?と掃除機で吸つてみたりと試行錯誤しましたが、花びらだけをとる繊細な作業だけにやっぱり手作業となります。

この子たちは大人になつてきつと畑の青い光景を忘れないと思います。できれば草津の子どもたちみんなに体験してほしいですね」

峯松さんは未来を見つめます。「市内にはたくさん耕作放棄地があります。そんなところにもアオバナ畑が広がって欲しいですね。あちらこちらで青い景色が広がる草津の夏。そこでは子どもも、高齢者も、障がい者も…、たくさんの人たちが青い花を摘んでくれる風景を想像しています。そんな風景こそ草津の宝だと思うんです。師匠の中村さんが言っていた『草津の土地でないと育たないアオバナ』を、みんなで地域の産業に育っていくことで先人たちにも恩返しできたらなと思います」

先人たちの努力が若い力に受け継がれ、絶望は希望へと変わりました。

この夏、草津はアオバナの青に染まります。

今年もやります!

アオバナ摘みボランティア募集
7:00~11:00
8月末まで毎日開催
草津あおばな館(下笠町)近くの畑
詳しくはSNSをチェック

HP



NPO法人 青花製彩

HP <https://www.big-advance.site/c/135/1814>

Instagram @aobanaseisai

Instagram



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニティTeaTime!」
オンデマンド放送でもお聞きいただけます
第35回(2022年8月)放送



協働ひろば(キラリエ草津5F)から草津市内のまちづくり情報を発信します。

催しやイベント情報などのチラシを持ってきていただければ、協働ひろばのラックに設置し、SNSで皆さんにお知らせします。

まちづくり振興課
T 565-0477



LINE公式アカウント



Instagram



涼やかに吹け、緑の風。 近江の竹となかまたち

柏木俊寛さん(42歳)

草津の夏、青と緑の物語。後半は緑のおはなしです。今回ご紹介する緑は「竹」。そう、タケノコが取れたり、物干し竿やかご・ザルなどの竹細工に使われたり、かぐや姫がいたりするあの竹です。竹林に行つたことのある人なら、あの清々しく美しい景色を思い浮かべる人もいるかもしれませんね。それも細やかな手入れがなされてこそ、の話。

今、全国的に放置竹林が問題になっています。そんな竹にまつわる問題に向き合う人たちがいます。



放置される竹林

ここは志津・青地にある西方寺の裏庭。手入れされた竹林の傍らには青竹で組まれたジャングルジムや「ブラン」。

そう、この竹林を手入れしている団体が「近江の竹となかまたち」です。

「竹林に入ると時間が止まってしまう。不思議な感覚になつて、とても落ち着きますよ。皆さん一度、来て欲しいですね」と日焼けした顔で話す柏木さん。存感を示している遊具も実習にきた大学生たちと一緒に造つたのだと。

今、全国で放置竹林が問題となつてることをご存知ですか。手入れされず伸び放題となつた竹は防犯上の問題はもちろん、光を遮り、他の植物の生長を阻害することも。道をふさいだり、割れたり倒れたりするのも危険です。竹は繁殖力が強く、放つておくとドンドン広がつてしまふ。また、根は横に浅く張つていて土砂崩れを引き起こす危険性も高まるのだと。

放置されてしまうのは持ち主の高齢化はもちろん、その持ち主が誰か分からぬなんてこと

もあります。昔のように竹を活用する場面が減っているのも放置化に拍車をかけています。

整備と活用。なるほど、放置竹林には両方のアプローチが必要ようです。

5年前は素人

こんな放置竹林の問題に取り組む「近江の竹となかまたち」。

ここ西方寺のほか、大津や近江八幡の竹林も手がけます。2mほどになった幼竹はメンマにさらに生長したものは竹炭や竹チップにします。チップは家庭菜園や園芸用の土壤改良材として使えたり、家畜の寝床に敷くと蚊が寄ってきません。そういうえば、西方寺ではヤギが竹チップの上で快適に寝ていました。これらは、道の駅やくさつフารーマーズマーケット

ト、マルシェなどで販売しています。

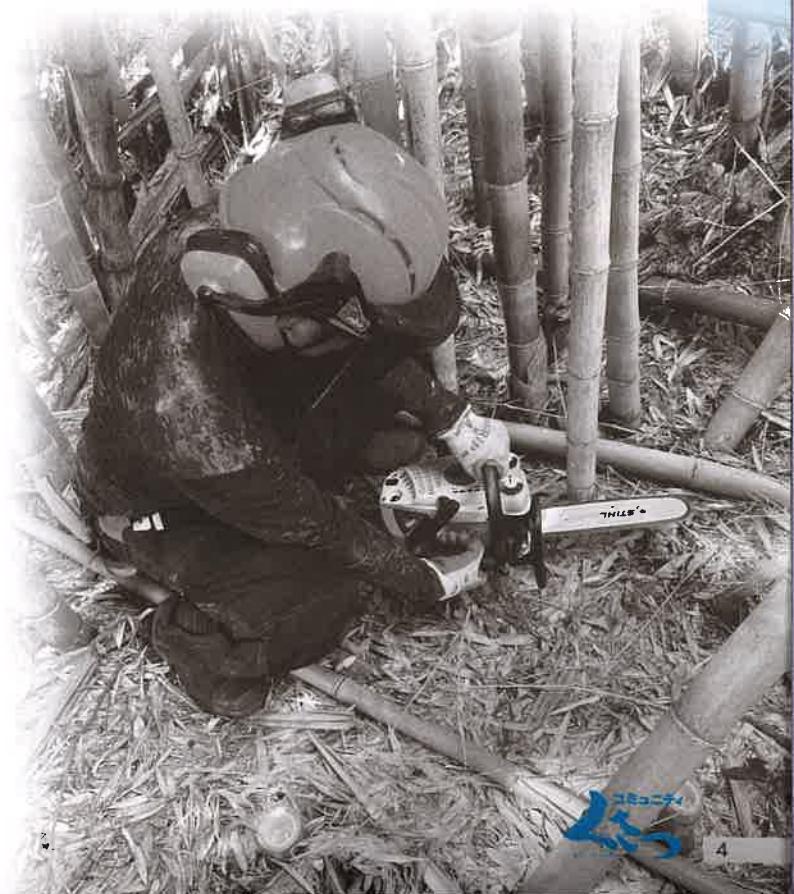
「竹は本当にすごい植物で捨てるところがありません。周りの人には『竹が地球を救う』な

んてふざけ気味に言ってるんですけど、実は本気で思っています（笑）。どっぷり竹の魅力にとりつかれた竹のスペシャリストも5年前までは全くの素人だったとか。

マルシェで販売
メンマ、竹炭、竹チップ…



道具づくり



意外なきつかけ

「その時は突然やってきました」と当時を振り返る柏木さん。

5年前のある日、たまたま流れていたテレビ番組でメンマづくりをやっていたのだと。「普段、ラーメンなどで何気なく食べていたメンマが竹から作られていく様子は新鮮でした」

更に日本の各地で放置竹林が問題になっていること、こんなに竹林があるにもかかわらず国内に流通するメンマの98%が中国産であることも番組で知りました。柏木さんの心が震えました。

まずはメンマを自分で作ってみたくて仕方ない。夜も寝付けない。翌朝早くに近くの竹やぶから伸びたタケノコを取ってきて、メンマづくりに挑戦です。皮をむき、半分に切ってから煮て、塩漬けします。「運が良かつたのか、これがメチャ美味しかったんですよ。もうハマりましたね」

柏木俊寛さん



ヤギのあいちゃん

あの日、たまたま観たテレビから始まった5年間は何とも濃密な日々。「そろそろ本格的にやってみたら」。純粋に、熱心に竹と向き合う柏木さんに妻が背中を押してくれました。今、柏木さんは若い世代のボランティアを募集中。「私たちの年代ってなかなか来にくいけど、竹林にいると普段の生活では得られない経験があります。休日ボランティアぐらいがちょうど楽しいんじゃないかな」。

空へとまっすぐに伸びる竹のように、柏木さんの夢は今日もグイグイ伸びています。

西方寺の竹林へいこう！

かぐや姫はいませんが、愉快な仲間たちが待っています。

あつ、竹に寝そべるヤギもいます。

●竹遊びワークショップ

竹を使った水鉄砲・竹ぼっくりづくり
8月19日(土) イオンモール草津

@ouminotake_to_nakamatati

Instagram



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニTea Time!」
オンデマンド放送でもお聞きいただけます

第44回(2023年5月放送)



ここからの柏木さんの行動力がなんともすごい。地元の町会長に相談し、近くの放置竹林を紹介してもらいました。住宅地の中にある約300mの竹やぶです。のこぎりなどの道具類から軽トラまで揃え、職場仲間に声をかけて整備を始めました。

でも、いざ始めてみると分からぬことだらけ。そこで竹林を整備している団体を調べ、甲賀や近江八幡、遠くは広島へ足を延ばしたこともあります。

仕事に子育てに、と忙しい世代。「休日3時間だけ」の約束を家族と交しての作業でしたが、次第に本格的になっていきました。竹チップが土壤改良に良いと聞き粉碎機を、また竹炭には

そんなある日、「タケノ」採れたよ」と同級生があげたSNSの記事を見つけます。その同級生は西方寺のご住職。ずいぶん会つてなかつたこともあり連絡してみました。

すると「実は竹林の手入れに困っている」とのこと。竹がつながり出しました。竹には本当にたくさん可能性を感じます」

消臭効果があると聞いて炭化器も購入。休日にはパパ友ママ友にも声をかけ、家族ぐるみで竹林整備を楽しみました。根を掘り返すとカブトムシの幼虫なんかも出てきて、竹そっちのけでみな夢中。なんとも心地よい汗です。



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。
その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、」のコミュニティを見つめます。

令和6年(2024)に市制施行70周年を迎える草津市ですが、昭和29年(1954)の草津市制施行当時の市庁舎は旧草津町役場(草津2丁目)におかれました。

一方、現在の市庁舎が位置する辺りには、込田池という溜池があり、その近くには草津小学校・草津中学校がありました。周囲には水田が広がっていました。

その後、昭和33年(1958)に込田池が隣接する場所に、新たな草津市庁舎が建設されます。この写真に写っている手前の大きな建物が市庁舎、その奥が込田池です。新築された市庁舎は、敷地1,702坪、建坪656坪、コンクリート3階建ての建物で、当時の組織は2局1所8課制でした。当時の市民にとって、市庁舎の建設は草津市誕生をより印象付ける出来事であったと考えられます。写真に写っている込田池は、昭和43年(1968)から翌年にかけて、市民会館や児童公園、宅地として埋め立てられました。

平成4年(1992)には、現在の市庁舎が建設されます。その際には、同じ場所に建て替えるのではなく、市民会館や児童公園、テニスコートがあった場所に、新庁舎や草津アミカホール・さわやか保健センターが建設されることになりました。

写真の市庁舎が建っていた場所が、現在は込田公園と市役所の臨時駐車場、市庁舎の後ろにある建物(当時の滋賀県草津保健所)が市役所の立体駐車場になっています。

草津市役所庁舎と 込田池



文・草津宿街道交流館

8/31 木 ロクハ公園 ロクハ公園プール 9:30~17:00	8/10 木 ロクハ荘 Let'sチャレンジ 小中学生ヤーンボミング 13:00~15:00 初心者の方でもOK! 保護者同伴可	8/12 土 ロクハ荘 縁日ゲーム 子どもに 人気! 13:00~17:00	8/24 木 ロクハ荘 アメリカの小学生の 一日をプチ体験 & アメリカンクラフト工作 10:00~11:30 定員 10組 申込 8/8(火) 対象 小学生以下と保護者 参加 800円/組
---	---	---	--

夏だ! ロクハへ行こう

9/24 日 ロクハ公園 木の実の日 園内散策と木の実観察 10:00~12:00 参加 大人200円 子ども100円 申込 9/10(日)~
--

ロクハ荘 多目的ホール貸し切りDAY ~エアサッカーやトイドローンも貸出中~ 9:30~18:00 参加 300円/時 定員 7組(先着順)	8/27 日 ロクハ公園 ロクハツアー 残暑の公園 10:00~12:00 参加 大人200円/子ども100円 申込 8/13(日)~
---	--

問合せ ロクハ公園 ☎564-3838 / ロクハ荘 ☎563-5021



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は59周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長してきたいと考えております。

滋賀営業所／〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
 TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

SUMAI SDGs

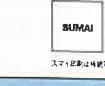
環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイ印刷は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。

「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

株式会社スマイ印刷
<https://sumaiprint.com>

〒520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
スマイ印刷はSDGsを実現しています。

ご寄付いただき、ありがとうございます。(順不同)

(株)アルタシミズ / (株)サンアメニティ大阪 / (株)近商物産 / 滋賀ホンダ販売株 / (株)三井田商事滋賀営業所 / 草津・栗東金融協議会 / (株)スマイ印刷
 つきぐまカステラ草津西口駅前店 / 草津商工会議所・タイムズ24・東急コミュニケーションズ共同事業体 / エムズホールド(株) / (有)菅材技研 / (株)Atori / 卯辰会





ご近所まんが

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。

どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。

楽しくも少し考えてしまう。

もしかして…これって、みんなの問題かも。

他のおはなし▶



屋台



夏まつりの打合せ



当 日



さく・com-com / え・まんじゅう

募集 ひとまちキラリ 助成&活動賞 8/1 火～10/25 水



活き活きとこのまちで暮らしたい。みんなの笑顔あふれるまちにしたい。私にできることで、まちや誰かの役に立つなら、ちょっと嬉しいかも。

2つのジャンルであなたの思いやまちづくり活動を応援する「ひとまちキラリ」の募集が、この夏はじまります。

まちづくり 活動助成

- ① “はじめの”いっぱい 1年目 5万円
2年目10万円
- ② “そのさき”いっぱい 1年間20万円
2部門それぞれ上限3団体の採択

イキイキ 活動賞

- ③ いいね! 地元の力
- ④ なるほど! 市民活動

2部門合わせて上限3団体
賞状・副賞5万円

募集要項や申請書は公共施設等に設置される他、
HPからもダウンロードできます



問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課
TEL 565-0477 E-mail com-com@mx.biwa.ne.jp

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！

くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津

くらし何でも相談

TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 エルティ932 4F 406

電話がかかりにくい場合はこちらへ センターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内

0120-783-455 (くらし何でも相談専用)

読売新聞



今こそ新聞を読む



読売センター草津西／有限会社 雄

〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索！ または、今すぐ右のQRコードにアクセス！



応援ありがとうございます 市民公益寄付金

草津市コミュニティ事業団は、草津のまちづくりをみんなで支える仕組みとして市民公益寄付金制度を設けています。私たちの活動に対するあなたの共感と善意をお待ちしております。

草津市

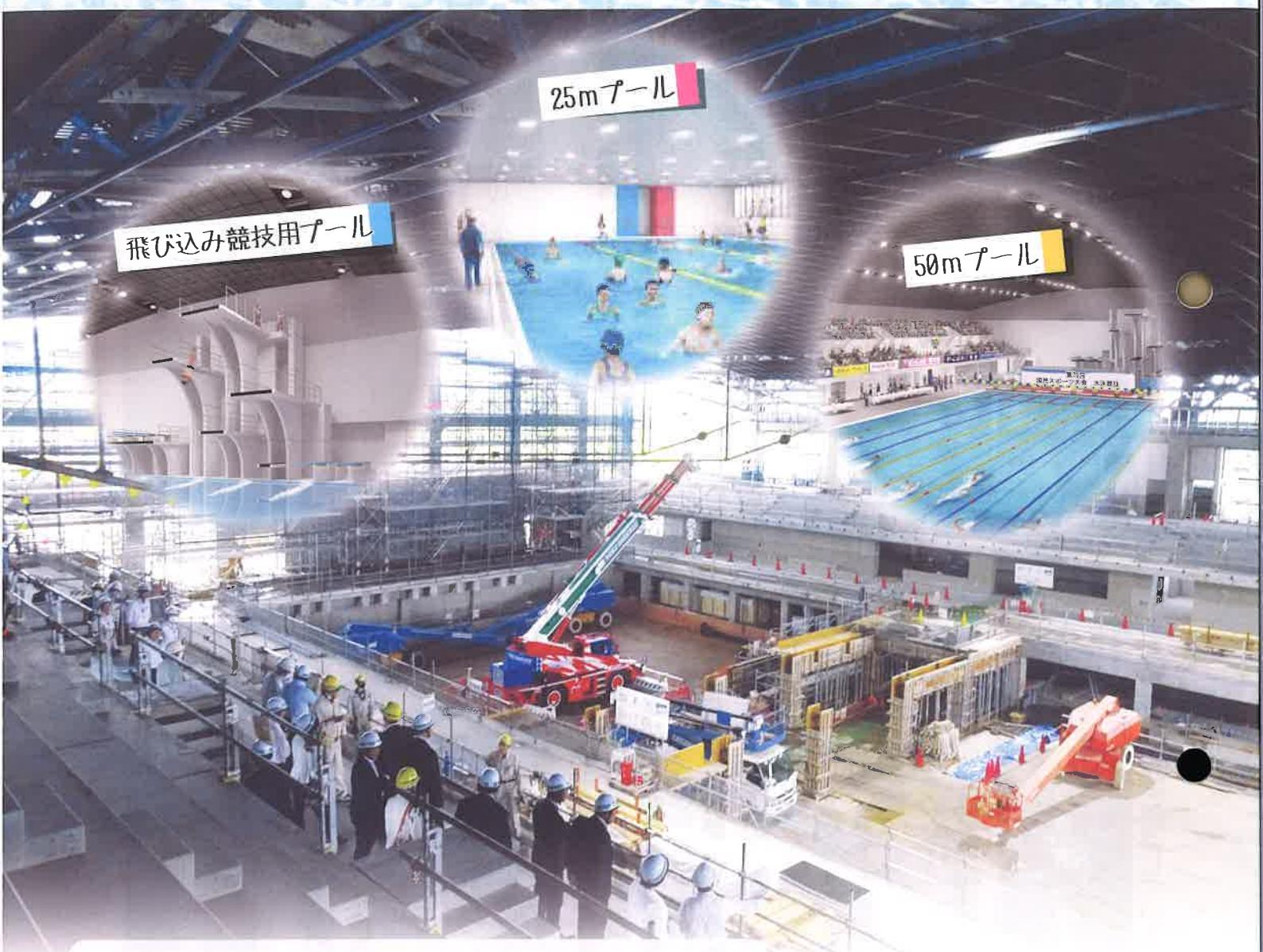
知ってほしい。議会のこと

議会だより

令和5年5月臨時会、6月定例会号

令和5年8月1日
発行

No. 188



6月30日に、(仮称) 草津市立プールの建築現場を
視察しました。

このプールは令和7(2025)年開催予定の第79回國
民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大
会の水泳競技会場としても使用される予定です。



【議第39号】
草津市税条例の一部を改正する条例案

全員賛成

審議された主な議案

【議第41号】
草津市医療費特別助成条例の一部を
改正する条例案

全員賛成

森林環境税の導入

●議案概要

個人市民税均等割について、温室効果ガス排出削減目標の達成等を図るため、令和6年度から新たに国税の森林環境税（1人年額1,000円）を賦課徴収する改正等。

*従来の臨時措置は令和5年度で終了。

●審査における質疑応答／意見

議員 市税の増額の臨時措置が令和5年度で終了し、国税の森林環境税が導入されるにあたり、本市の財政への影響は？

市 本市の減収分に関しては、一定額地方交付税として交付される。



*森林環境税とは

森林環境税は、森林環境税および森林環境譲与税に関する法律（平成31年3月29日法律第3号）に基づき、市町村および都道府県が実施する森林の整備およびその促進に関する施策の財源に充てるため、個人住民税均等割に上乗せして課される税金です。国の課す税金ですが、実際の徴収は個人住民税に併せて市町村が行います。その収入額は、森林環境譲与税として、市町村および都道府県に対して譲与されます。

子どもへの医療費助成範囲の上限を高校卒業程度まで引き上げ

●議案概要

子どもへの医療費助成について、小学生までの入院通院医療費および中学生の入院医療費を対象としているが、子育て世帯すべてを網羅する形で、経済的負担の軽減を図るべく、助成範囲の上限を高校卒業程度まで引き上げるもの。また助成方法をすべて現物給付とするよう改正する。施行期日は令和5年10月1日と定め、令和5年10月診療分の医療費から適用となる。

●審査における質疑応答／意見

議員 今回拡大される対象は高校生がほとんどだと思うが、働いておられる方や、色々な環境の対象者がおられる。この対象の割合は、どのように把握しているのか？

議員 交付のあり方、手続きについての考えは？

市 今後の手続きについては、本市にお住まいでの当該年齢に該当される方から、既に他の制度等で助成を受けておられる方を除いた方々に対しても、

8月中旬に直接申請勧奨通知を送り、返信があつた方に、9月以降随時受給券を送付するという方法を考えている。

市 本市にお住まいの当該年齢の方は把握していないが、令和2年度に国の統計があり、98・8%の方が進学をされるという結果が出ており、本市も同等の水準と推測している。

5月臨時会・6月定例会について

令和5年5月16日に5月臨時会を開き、議案3件が市長から提出されました。

令和5年6月9日から6月30日まで6月定例会を開き、議案13件が市長から提出されました。なお、議員からは、意見書案3件を出し、請願1件を紹介提出しました。

今号では、6月定例会中の6月23日から28日までに4つの常任委員会に付託された条例案や補正予算案などを慎重に審査した内容の中から、いくつかの質疑を要約してお伝えします。

産業建設常任委員会

【議第42号】
草津市産業振興条例案

全員賛成

産業の振興に向けた新条例

●議案概要

昨今の急激な社会および経済情勢の変化に対応した幅広い産業振興策を講じる必要がある中、本市の経済発展と市民生活の向上を図ることを目的として、雇用拡大と収益確保等の諸課題に対応し、地域社会の持続的な発展を目指すもの。

●審査における質疑応答／意見

議員 中小事業者への支援が特に求められる。どのあたりに焦点が当たっているのか。
市 実際の実行計画は「産業振興計画」で定めていくが、以前から支援を講じていた従来の工業に加え、幅広く商業の分野にも広げていく考え。

議員 例えば、飲食関係と草津産野菜を結ぶことなどもできるのか。
市 現在も、コーディネータがマッチング訪問をしているが、製造業が中心であった。今後は農商連携など、幅広い連携を推進していく。また、創業や起業などのイノベーションを創出していく観点と既存の中小企業を支えていく観点の二つを掲げて推進していく。

議員 研究機関の役割は、人材育成や研究成果を幅広く地域社会に波及させる能力を發揮していくだけことだと考えるが、草津市には大企業が集積していて、企業と組んでイノベーションを起こしていく観点などが条例に表現されていないが、時代に即した条例となつていいのか伺う。

議員 教育研究機関は、大学などの研究成果の技術移転などが主になつてくると考えていい。一方で研究所を持つている企業も市内に多数おられるので、研究されている事業者と大学とがマッチング出来れば、イノベーションが起きることも考えられる。産業振興計画に掲げたイノベーション創出には、そういう意味合いも込めていた。

予算常任委員会

【議第36号】
令和5年度草津市一般会計補正予算
(第2号)

全員賛成

保護者、保育士の負担を軽減

●議案概要

県内初！保育施設等における紙おむつ無償化。保育施設等に定期的に紙おむつを支給し、おむつへの名前書きや補充等の保護者の負担を減らし、併せて保育士のおむつ管理に係る負担を軽減。

●審査における質疑応答／意見

議員 紙おむつの無償化事業は、現場の保育施設等のそれぞれの施設の反応や市民の反応はどうなものであるか。

議員 施設によつては、布おむつを利用しているところもあり、施設の方針も尊重することも必要と思う。

市 園長会にて、説明したところであるが、概ね良い反応だった。報道後の市民の反応は特にない状況。

議員 メーカーの選定も含めて、施設との詳細な使用方法等を確認しながら適切に進めてまいりたい。

議員会意見 予算執行に業者選定を行うものだが、審査項目の中に品質保証や保護者ニーズによる評価項目を設けるということで対応している。

議員会意見 予算執行に業者選定を行うものだが、審査項目の中に品質保証や保護者ニーズによる評価項目を設けるということで対応している。

令和5年5月臨時会
および6月定例会

議決結果一覧表

議員別表決結果は
HPで見られます。



【5月臨時会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第33号	専決処分の承認を求めるについて《税条例の一部改正》	即決	承認
議第34号	専決処分の承認を求めるについて《国民健康保険税条例の一部改正》	即決	承認

【6月定例会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第36号	令和5年度草津市一般会計補正予算(第2号)	予算	原案可決
議第37号	令和5年度草津市学校給食センター特別会計補正予算(第1号)	予算	原案可決
議第38号	令和5年度草津市水道事業会計補正予算(第1号)	予算	原案可決
議第39号	草津市税条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第40号	草津市手数料条例および草津市印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第41号	草津市医療費特別助成条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第42号	草津市産業振興条例案	産建	原案可決
議第43号	草津市都市公園条例および草津市立ロクハ公園駐車場条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第44号	財産の交換につき議決を求めるについて	産建	原案可決

議案番号	件名	付託先	結果
議第35号	令和5年度草津市一般会計補正予算(第1号)	予算	原案可決

議案番号	件名	付託先	結果
議第45号	草津市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	即決	同意
議第46号	下笠町財産区管理委員の選任につき同意を求めるについて	即決	同意
議第47号	草津市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	即決	同意
議第48号	草津市農業委員会委員の任命につき同意を求めるについて	即決	同意
請願第1号	難聴と認知症防止のため補聴器購入の助成制度を求める請願書	文厚	不採択
意見書第4号	物価高騰の中で最低賃金の緊急的な引上げを求める意見書(案)	即決	否決
意見書第5号	「残業代不支給」となっている教員給与特別法の廃止を求める意見書(案)	即決	否決
意見書第6号	同性婚を認める民法改正等法整備を求める意見書(案)	即決	否決

※付託先…議案の審査を行う所管委員会。
なお、付託しない場合は、本会議で即決。
〈 〉は件名に対する補足説明を表します。



令和5年10月定例会を開催予定



皆様の傍聴をお待ちしています!

月	火	水	木	金	土	日
16	17	18	10/19 10:00~ 本会議(開会)	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	31 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	11/1 10:00~ 本会議 (質疑および一般質問)	2 9:30~ 総務常任委員会	3	4	5
6 9:30~ 文教厚生 常任委員会	7 9:30~ 産業建設 常任委員会	8 9:30~ 予算常任委員会	9 9:30~ 決算特別委員会	10 9:30~ 決算特別委員会	11	12
13 9:30~ 決算特別委員会	14 9:30~ 決算特別委員会	15	16 10:00~ 本会議 (委員長報告、採決、閉会)	17	18	19

日程は、都合により変更になる場合があります。

日程の変更は、ホームページでお知らせします。

質疑および 一般質問

6月20日、21日、22日には、19人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。



録画中継
はこちら

土肥 浩資 市民派クラブ

良質な睡眠習慣の確立の推進

議員 「良質な睡眠習慣の確立の推進」や「健康にとっての睡眠の重要性の啓発」について取組実績と自己評価は。

市 乳幼児健診の際に保護者に対し「早起き・早寝の習慣づくり」を啓発するとともに、高齢者に対して睡眠講座を開催する等の啓発に取り組んでいるが、乳幼児や高齢者以外の、特に働く世代に特化した啓発は市として進めてこなかったため、今後の課題として受け止めている。

働く世代の睡眠習慣の改善

議員 働く世代の睡眠不足は草津市の地域経済や税収に悪影響を与える。体調管理について自己責任や自己管理を求められる働く世代にこそ、睡眠習慣の改善に向けた啓発等の取組を進めていくべきではないか。

市 今後は市の健幸都市づくりに向けた取組に賛同いただいた200を超える事業所を中心に、「健康経営」の普及促進に加え、睡眠の重要性に関する情報を提供していく。



その他の質問

- 高齢者の良い睡眠習慣の確立「草津市版みんなく」の導入

井上 薫 草政会

史跡芦浦観音寺と歴史資料館整備

議員 芦浦観音寺周辺整備の進捗状況や現状課題と芦浦観音寺周辺に整備するとされている歴史資料館の整備の考え方を伺う。

市 芦浦観音寺周辺整備は、概ね順調だが、活用している国庫補助金の交付状況が厳しい状況であり、国に対して必要額確保の働きかけを継続していく。また、歴史資料館についても学習効果と集客が期待できる芦浦観音寺近辺に整備することで現在計画を進めている。

県道片岡栗東線の整備

議員 県道片岡栗東線の整備に係る守山市の市街化編入による草津市への影響についての考え方と守山市や県への働きかけについての考え方について伺う。

市 守山市側の開発については、農業用水を始め、営農活動に影響を及ぼさないよう意見をしている。また、県道片岡栗東線の歩道整備についても安全対策上重要なと考えており、引き続き県と連携を図りながら要望ていきたい。



その他の質問

- 商業施設について
- 都市計画道路下笠下物線について

田中 香治 草政会

草津宿本陣の耐震改修工事

議員 令和6年から7年まで行われる耐震工事の概算工事費は、また閉館している期間の機会損失を補う策は。

市 耐震補強工事は、伝統的木造建築の価値を保護し、安全性を確保するため天井裏や床下での補強を行う。工事費用は概算で1億円と見込んでいる。整備工事中は部分解体している状況など、その時にしか見ることのできない箇所の特別公開を検討している。

合理的配慮の義務化に関して

議員 令和6年4月1日から事業者の合理的配慮の提供が法律上も義務化する。商工業者との連携等、草津市の考えは。

市 市内の各観光施設においては、個別にバリアフリー対応を実施している施設はあるが、観光庁の観光施設における心のバリアフリーの認定を受けた施設はないことから、環境整備を推進するため、関係団体と連携を密にして市のホームページなどで国の取組から周知していく。

その他の質問

- 共同受注窓口を活用した障害者雇用促進
- 文化財保護法、地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部改正についての市の考え方



服部利比郎 草政会

小中学校における教員の働き方改革

議員 教員業務支援員を活用した事務作業の負担軽減を積極的に図るべきと考えるが本市は少ないと感じる。増員はできないか。

市 本市では市費による加配教員や支援員等を配置し、教員の業務負担軽減を図っているが、今後は校務のデジタル化をさらに進めるとともに、「草津市学校業務改革プラン」の全面的な見直しに取り組むこととしており、この中で各種支援員等の配置についても検討していく。

中学校部活動の地域移行

議員 2025年に向けた部活動の地域移行については慎重な対応が求められる。本市の現状についてと受け皿整備の方針を伺う。

市 まずは外部の部活動指導員や支援員を増員することで、教員の負担を軽減する取組を進めている。子どもや保護者の思いや願いを大切にしながら、望ましい部活動の在り方に向け、今後の具体的な課題整理を行い、関係団体とともに受け皿の整備について検討していく。

杉江 昇 市民派クラブ

パーソナルヘルスレコードの普及

議員 自分で健康管理ができるパーソナルヘルスレコードの普及のための情報収集について、現在の検討状況を伺う。

市 個人向けのアプリなど、事業者によるサービスが可能となった。本市では、県内の医療機関と在宅療養支援機関が情報共有し、医療と介護の連携が進められている。また、市民一人ひとりが健康に关心を持っていただくことで、特定健診やがん検診の受診率が向上し、健康増進につながる。

草津市での3つのシティの統合運用

議員 健幸都市とガーデンシティ、ゼロカーボンシティは密接に関係している。これらを統合運用するための気運醸成の手応えはいかがか。

市 3つのシティ計画は密接に関連しており、相互に連携する必要がある。現時点では、分野横断的に推進する機関の立上げ検討には至っていないが、各分野の担当部局と連携を図っており、関係団体とも協議を行いながら推進機関の立上げを検討する。

その他の質問

- 草津川跡地公園に係る費用対効果と波及する効果での計り方の違い



西田 剛 草政会

コミュニティ・スクールの形骸化

議員 一部ではコミュニティ・スクールが形骸化していると言われているが現状はどうなのか。また今後さらに効果的に活かしていくためには。

市 コミュニティ・スクールは、めざす子ども像を共有し、地域から信頼され、応援される学校を推進するために、昨年度から地域連携をテーマに設けて熟議し、議事概要をホームページに掲載し形骸化を防ぐ取組を行っている。積極的な情報発信を通して学校への信頼を高め、より多くの団体や地域の方々に参画いただくことを目指している。

地域と学校の関わり

議員 保護者や地域が学校と連携して、持続可能な魅力のある学びの場づくりの手伝いをしていく必要があると考えるが市の見解は。

市 市内の学校では、コミュニティ・スクールが核となり、学校を支えるボランティア組織が立ち上がり、学習補助や環境整備、安全確保等の支援をいただいているという事例も出てきており、このような地域が学校を支える取組を全市的に広げていきたい。

その他の質問

- 教職員確保と業務負担軽減策



西村 隆行 公明党

必要な準備用品を用意できないか

議員 誰が初めて見てもわかりやすく使える避難所運営準備用品を各広域避難所に用意しておけないか。

市 避難所開設のマニュアルや必要な準備用品の用意については、災害対応で重要な初動期のみをポイントに絞ったわかりやすいマニュアルの整備を含め、必要な準備用品をまとめたキットの整備を、他市の事例を参考に調査・研究する。

校内レイアウト図

議員 広域避難所としての小学校や中学校で、校内使用許可が学校から提示されない限り、秩序ある避難所の開設は困難だが、校内の使用可・不可のレイアウト図の提出は可能か。

市 学校施設管理に必要な校長室や個人情報を保管している職員室、事務室のほか、危険な薬品や施設・設備がある部屋など、災害の規模等にかかわらず、避難所運営に適さない場所を使用不可範囲として示したレイアウト図を提出することは可能。

その他の質問

- 避難所運営マニュアル
- 広域避難所になる施設の開錠



八木 良人 チャレンジくさつ

市のトイレに緊急ボタンを設置

議員 他市で人がトイレで倒れて亡くなる事故が発生した。トイレに緊急ボタンがあれば救護できたかもしれない。市役所の全トイレに緊急ボタンを設置し命を守ってほしいが市の見解は。



市 市では、バリアフリートイレに緊急ボタンを設置している。しかし、コスト面や維持管理の面から全トイレへの設置は考えていない。国では緊急ボタンは推奨されるにとどまっているので、現在のところ設置する考えはない。



がん検診受診率向上のための施策

議員 早期発見により、90%以上の命が救われることからも受診率向上は重要である。受診率アップのための継続的な取組について伺う。



市 がん検診の個別勧奨通知をカラフルに見やすくしたり、これまでがんの種類ごとに送付していたものを一本化して見せ方を工夫してきた。議員ご指摘のとおり、どう改善していくかということは、今後も継続的にしっかり検討していかたい。

その他の質問

- 紙おむつ等の支援策
- 保育士への補助金支給
- 次年度以降の子育て支援策継続

遠藤 覚 草政会

スポーツ・文化芸術に対する活動支援を

議員 スポーツ・文化芸術分野の市民の活動は市の誇り。大会等参加のための活動支援は垣根なく充実を求める。

市 市は市民がより活発なスポーツ・文化芸術活動を行っていただけるよう、ともに激励金制度を設けているが統一した基準にはなっていない。今後、他の自治体の状況を調査し、適切な支援制度のあり方を検討する。

ロクハ公園、学校プールの今後のあり方

議員 ロクハプールが老朽化、改修には公園部分を含めPark-PFI^①として整備を。学校プールは新市立プールの活用を。

市 ロクハプールは開設後30年が経過。Park-PFIを含む民間活力の検討を行う予定。まずはプールの改修等について検討を行う。学校プールも老朽化が課題。新市立プールまでの移動にかかる課題等はあるが、国・スポート・障・ス・後を目指して段階的に移行していく。



藤井三恵子 日本共産党草津市会議員団

子どもの医療費無料化完全実施を

議員 高校卒業まで拡大のため条例改正および補正予算の提案を行っているが、通院の一診療500円の自己負担も無くすべきと考えるが市の見解は。

市 通院医療費の自己負担については、少子化対策のため無料実施の市町があるが、本市では市民税課税世帯であれば一診療あたり500円の負担を実施している。子どもにかかる助成は給付と負担の公平性から現在完全無料化については考えていない。

学校給食費の無償化の実現を

議員 学校給食法に基づき制度改善が求められ、給食費無償化が全国に広がっている。給食費無償化の実施について市の見解は。

市 国の子ども未来戦略方針において、「自治体における実態調査等を速やかに行い、小中学校の給食実施状況の違いや法制面なども含め課題整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する。」とされていることから今後の動向をみていく。



その他の質問

- ・(仮称)草津市立プールの進捗状況と機運の高まりについて

小野 元嗣 草政会

市民要望の警察官増員と交番増設

議員 草津警察署は警察官1人あたりの県民負担人口が1,042人で全国基準の2倍以上に及ぶ。人口動態や治安情勢に合った最適化する交番増設を要望するが市の見解を問う。

市 依然、草津警察署の警察官の少ない状況であることをから、引き続き国・県に対し警察官増員の要望を行うとともに、交番増設についても国・県へ要望していく。

南草津駅前渋滞の早急な改善状況

議員 県との社会実験も実施され、徐々に改善されていると感じるが、信号機の運用変更を実施され交通流通改善について問う。

市 駅前交差点信号機をロータリーから出る方向の青色秒数を15秒延長し、32秒間青色を維持する変更等の時間調整を行った。調整後は国道1号へ進出するまでの信号で停止する頻度が減少し、ロータリー内の渋滞緩和につながり路線バスの定時性が損なわれなくなり渋滞緩和につながった。



川瀬 善行 草政会

風水害に対する備え

議員 近年、テレビ等で正確な予知情報を得ることが可能となってきたが、地域住民の避難行動などを端的に伝える仕組みづくりが必要だ。

市 河川防災カメラの情報や河川の水位情報は、国や県のホームページから確認できる。このことを市の広報やハザードマップ配布時などでお伝えしているが、市のホームページからこのような情報を直接つなげるような工夫を考える。

滋賀県(草津市)の南の玄関口構想の推進

議員 草津田上ICを活かして草津PAを通過する高速バスの誘導と路線バス等の結節点を設け、中長距離の旅行や観光客を呼び寄せる拠点づくりを進めるための課題は。

市 ハード面では、結節するための新たな停車場やロータリー等の整備が不可欠、ソフト面では乗り継ぎニーズの需要予測や運行時間帯等の調整は必要。今後、基本計画を策定していく中で新しい公共交通の形の検討を進めたい。



その他の質問

- ・高齢者や認知症当事者の見守り
- ・笑顔ある子育て推進

その他の質問

- ・山手幹線の延長を急ぎ、新しい輸送道路としての機能拡張を
- ・全国に発信できる将来都市に向けて

①Park-PFI

公園に施設を設置して運営する民間事業者を公募により選定する制度。

山元 宏和 草政会

高齢化が進む二極化したまちづくり

議員 市内において高齢化が進む地域と若い層が住む地域とがあり、この二極化したまちづくりの進め方について問う。

市 まちづくりの進め方としては、立地適正化計画を策定し、都市の魅力向上と人口集積に取り組み、また、地域再生計画も独自に策定し、あわせて地域公共交通網形成計画から公共交通環境の充実により、違った魅力ある都市の多様化を進め、生き生きと住み続けられるまちづくりを目指していく。

コミュニティナースの設置

議員 高齢化や人口減少が進む地域においてコミュニティナース制度を導入し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進すべきでないか。

市 地区担当保健師制を採用している市としては、コミュニティナースとの活動が重なってしまい、役割分担が難しいなどの課題があることから、その導入については現段階では考えておらず、引き続き地区担当保健師が様々な関係団体等と連携し、市民の健康づくりを進めしていく。



その他の質問

- 志津南環境美化ボランティアの会によるまちづくり

栗津由紀夫 市民派クラブ

老上学区に向けた施策や事業

議員 この4年間で127%と人口急増が著しい老上学区に対して、地域コミュニティに向けた施策や事業はあるか伺う。

市 新たな住民の方々が増加する中で、新旧住民の交流やコミュニティの形成が課題であり、行政からの支援が必要であると意見をいただいている。今年度、課題解決応援交付金を活用していただいていることから、草津市コミュニティ事業団とともに事業実施に向けた支援を予定している。

地域課題解決応援交付金等の延長

議員 地域の課題を解決するための地域課題解決応援交付金は、令和5年度で打ち切りと聞いている。延長もしくは新たな施策は。

市 地域課題解決応援交付金は、令和5年度までの制度で一定の成果があった。しかしながら、各学区における課題に応じた取組はまだ始まったばかりで、持続可能な地域づくりには至っていない。次期交付金制度については、各学区の意見を十分に伺いながら検討したいと考えている。



奥村 恭弘 市民派クラブ

(仮称) 新志津運動公園整備費

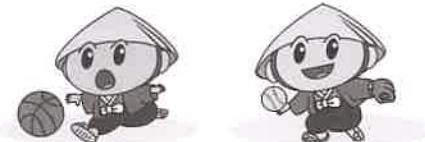
議員 これから整備される(仮称)新志津運動公園グラウンドの仕様について伺う。

市 旧志津運動公園グラウンドの代替施設として整備することを基本としながらも、新しい施設にどういった機能が求められるか、審議会やニーズ調査の際に関係者からの意見も伺いながら、検討を進めていきたいと考えている。

国スポ・障スポの市民の盛り上げ

議員 市民の皆様を巻き込んだ「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」になるよう、これからどのようなことを想定されているのか伺う。

市 草津市民には、「デモンストレーションスポーツへの参加」や「競技会場での観戦や応援」のほか、「ボランティアへの参画」を通じて、「する」「見る」「支える」「知る」という様々な立場で関わってもらえるよう、取組を進めていく。



その他の質問

- 草津市スポーツ協会からの陸上競技と球技機能を加味した施設要望への回答



伊吹 達郎 草政会

少子化対策方針と若者閉塞感打開策

議員 市の方針や出生数の動向と子育て世代と共に経済的不安で未婚化する若者世代の閉塞感打開のために奨学金制度を創設はどうか。

市 国の少子化対策の動向を注視し「子どもを産み育てるなら草津市」をめざす。出生数は全国と同様に減少しており、経済的不安や出会いの機会の減少等若い世代の支援を実施していく。提案の「草津ふるさと奨学金」創設については、教育・子育て支援策が重要で市独自の制度創設は考えていない。

公共トイレの充実整備

議員 以前にも質問した「誰もが出かけなくなるまち草津」を作るため、公共トイレの充実整備の進捗状況と今後の進め方はどうか。

市 バリアフリートイレの設置数は155施設中107施設で69%、洋式便器の設置数は2,313カ所中1,538カ所で67%で草津駅や南草津駅のトイレ改修については国スポ・障スポに間に合うよう実施する。その他小中学校を含めた公共施設や災害時のトイレについても計画的に実施していく。

その他の質問

- 不登校児の急増に対する施策
- 地域まちづくりセンターの建て替え時期

その他の質問

- 草津川跡地整備の進捗状況と今後の計画
- 市民の移動手段の確保

石本恵津子 チャレンジくさつ

孤独・孤立化防止

議員 独孤・孤立の当事者等への支援として、サロン等の場の提供や、アクティビティの多様化と活性化に向けた市の考えを問う。

市 人材リストの活用、ボランティア登録団体との連携・協働を図り、地域サロンや多世代交流拠点における活動の多様化や活性化を推進する。利用者ニーズを把握し、運営の支援を行う。場所の周知啓発やさらなる充実を図り、聞き取った困りごとに対する支援につなげる。

イノベーション創出支援

議員 創業希望者等が新たな取組に挑戦しやすいまちを目指した取組について伺う。

市 ビジネス上の課題に、ワンストップで相談可能な体制を構築するため、新たに草津市ビジネスサポートセンターの設置に向け取り組んでいる。企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を進め、起業家等の交流機会の創出は、新たなセンターでの実施を検討している。関係機関とUDCBK等の施設とも連携し、開設に向けて調整する。各支援機関で情報交換を行い、ホームページで発信する。

その他の質問

- 防災リーダーについて（災害時の情報収集と女性防災リーダー育成）

えふえむ草津で 議会活動を報告しました



市民の皆様に、市議会の活動を
より知っていただくため、
えふえむ草津の番組に出演しました!!

●番組名

「スマートウェルネスくさつ」

●番組テーマ

「知ってほしい、議会の活動」

えふえむ草津ホームページから、
オンデマンド放送でいつでもお聞
きいただけます。



たくさんの方に
聞いてほしいたび！

西川 仁 日本共産党草津市会議員団

マイナンバー保険証の中止を

議員 現保険証を廃止し、来年秋にマイナンバー保険証に切り替えられる。誤登録問題や医療団体等からの中止の声に応えよ。

市 今年4月12日時点で9,992名（46%）がマイナンバーカードを保険証利用できる状態であるが、本市の運用では、窓口における本人確認や資格取得処理の事後審査も行っていることから誤登録のリスクは原則ない。保険証の一体化に伴い新たに創設された資格確認書の運用等の情報収集に努め、安心いただける医療保険制度の運用に努める。

教員の欠員、過大規模校の解消を

議員 教員の配置基準から欠員や未配置等の現況と時間外労働の実態と改善策を問う。

市 市内小中学校で730名（正規教員670名、常勤講師60名）の定数となっているが、常勤講師が4名補充できず、学校や県教育委員会と連携し、確保に向け努力している。時間外労働の実態は月45時間以上が48.8%、月80時間以上が11.6%と減少しているものの依然として多い状況であるため、全面的に見直し、時間外労働の縮減に向け業務改善を進める。

その他の質問

- 草津学区まちづくりセンターの残業代
- 待機児童を生じさせない保育行政を

西垣 和美 公明党

感覚過敏の周知とやさしい対応

議員 感覚過敏のある人にとっては理解がないことが大変辛い。まずは、教員の理解と正しい認識による支援が必要である。市としても、周知、啓発の方策を講じてほしい。

市 教員の理解に違いがあることが現状であり、その解消のために今年も夏休みに研修を実施する。支援については一人一人懇談を行い計画的に支援を進めている。広い周知については、効果的な周知方法について考えていきたい。

インクルーシブ教育と保護者支援

議員 誰も排除しないインクルーシブ教育のあり方と支援が必要な当事者の保護者への情報提供とカウンセリング体制の充実が必要ではないか。

市 障害のある子どもが地域で学べるようにインクルーシブサポーターの配置や、医療的ケアが必要な児童への看護師の配置を実施している。情報の提供は大変重要であり、相談先がわかるリーフレット作成をする。市独自配置のSSW^②の常駐化について検討中である。

その他の質問

- ウェルビーイング^③なまちづくりの視点
- 幸福度指標の立命館大学との研究

常任委員会 所管事務調査

最終報告書

総務・文教厚生・産業建設常任委員会は、議案審査だけでなく市民生活に関する課題などの調査・研究を行っています。

令和3年12月から約1年半にわたる調査・研究の結果を6月定例会で議長に報告し、市長に提出しましたので、その内容を紹介します。

各委員会報告書はQRコードからホームページで見られます。

総務常任委員会



行政手続の オンライン化について

行政手続のオンライン化による市民の利便性の向上や、業務の効率化によって、ICTで豊かさを感じられるようなまちを目指して、「デジタル・デバイド対策やダブルコストの軽減のための業務最適化、SNSの活用、既オンライン化事業のステップアップ、窓口手続数軽減のためのマイナンバーカード啓発」といった諸課題を調査しました。



誰もがICTで豊かさを感じられるよう なまちを目指して

行政手続きのオンライン化は、こうした課題に対応できる人材育成を行いながら、利用者のわかりやすさや使いやすさを追求していくことが必要です。はじめから完璧なサービスを提供することは難しいことでもあるため、「実行する→周知する→利用者の声を聞く→改善する」というサイクルを常に回すことが重要です。

業務効率化によって生まれた時間をより丁寧な市民対応時間に充て、さらなる市民の利便性の向上を図り、誰もがICTで豊かさを感じられるようなまちを目指して取り組もう求めました。

文教厚生常任委員会



歴史・文化資源を活用した持続可能な社会の創り手を育む教育について

地域や家庭での学びの充実や地域協働合校の推進などを通じて、社会全体で学びを進めることに加え、歴史・文化・環境などを守り育てるといったSDGsの理念を念頭に置きながら教育を進め、子どもたちへ「郷土愛」や「生きる力」を醸成させることを目的として、地域の担い手の高齢化・固定化や地域差の諸課題およびICT機器の利活用について調査しました。



社会全体で学びを進め、郷土愛の醸成へ

AR（拡張現実）やVR（仮想現実）などの先端技術を活用したデジタル教材を導入することで、課題解決の糸口を見出すとともに、現在や過去を問わず、実際に様子を見て、体験して学ぶことができ、子どもたちの興味関心をより引き立たせ、郷土愛の醸成へとつなげることができると考えました。

しかしながら、先端技術を活用したデジタル教材の活用だけでは、課題の根本的な解決には至らないため、社会全体で学びを進めるため、学校と地域のより一層の連携強化が必要と考えます。

また、地域の歴史・文化資源のデジタル教材は、地域の記録としても大変貴重なものとなるため、教育面のみの活用に留まることなく、様々な視点から必要性を検討するよう求めました。

産業建設常任委員会



人口減少や少子化、超高齢化が進む将来、誰もが安心して便利に生活ができる「持続可能なまち」であります。続けるために、人の移動に視点を置いた交通のあり方にとどまらず、効率的で利便性の高い人の暮らしを起点とした都市づくりの強化などについて調査しました。

効率的で利便性の高い持続可能な都市づくりに向けて

「需要追随型」ではなく、前例や既成概念にとらわれず、明確な目標に基づき、理想とする未来社会を目指す「目標実現型」で、計画を定め実行するよう求めました。また、現状分析や課題解決の手法の検討において、デジタル技術を積極的に活用するとともに、民間の技術や収益性効率性などのノウハウを活用しながら、目標に向かって官民一体となつて取組を進めるよう求めました。

さらに、それぞれの地域が抱える課題や課題解決に向けた手法を丁寧に検討したうえで、モデル地域を定めた試行的な取組を含めて、施策を積極的に展開するよう求めました。

最後に、「人の暮らし」は全ての所管に関するものであることから、全部局においてこれらの点を踏まえた計画策定や施策の展開が行われることを求めました。



知ってほしい、議会の活動

人権研修会



草津市は「障害のある人もない人も、誰もが輝けるまち草津」を掲げています。

しかし、障害に対する理解不足から、無意識のうちに差別的な対応をしてしまうケースは少なくありません。

障害のある人にとって何がバリア・障壁になっているのかを周囲の人が理解し、配慮することで障害はなくすことができます。

日頃から人権意識を高め、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現に向けて取り組むことが大切であると考え、知的・発達障がい啓発キャラバン隊「びわこ☆めだか隊」の皆様を招き、疑似体験を中心に研修会を実施しました。



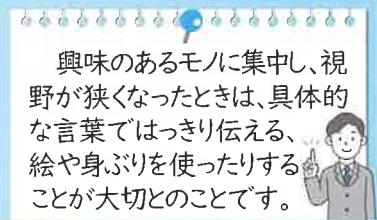
疑似体験をしてみよう



どんな風に見えているの？

ペットボトル眼鏡を使用し、シングルフォーカスを体験しました。

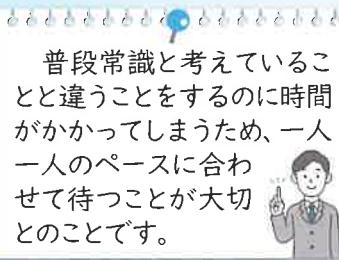
シングルフォーカスとは、興味のあるモノ一点に集中してしまう状態を言います。



後出しじゃんけんしてみよう

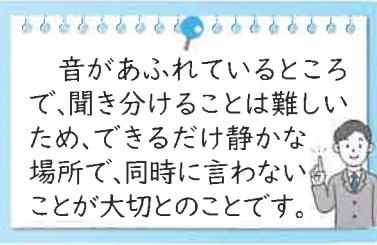
じゃんけんに勝たずに「後出しで負けてみる」という、普段やり慣れていないことをする難しさを体験しました。

さらに、「早く！」と急かされることで、的確な判断が遅れてしまうという体験もしました。



どんな風に聞こえているの？

複数人が同時に発した別の言葉を聞き分けられるかで、聴覚過敏を疑似体験しました。多くの音の中から、一つの音を聞き分けるのは非常に難しいです。

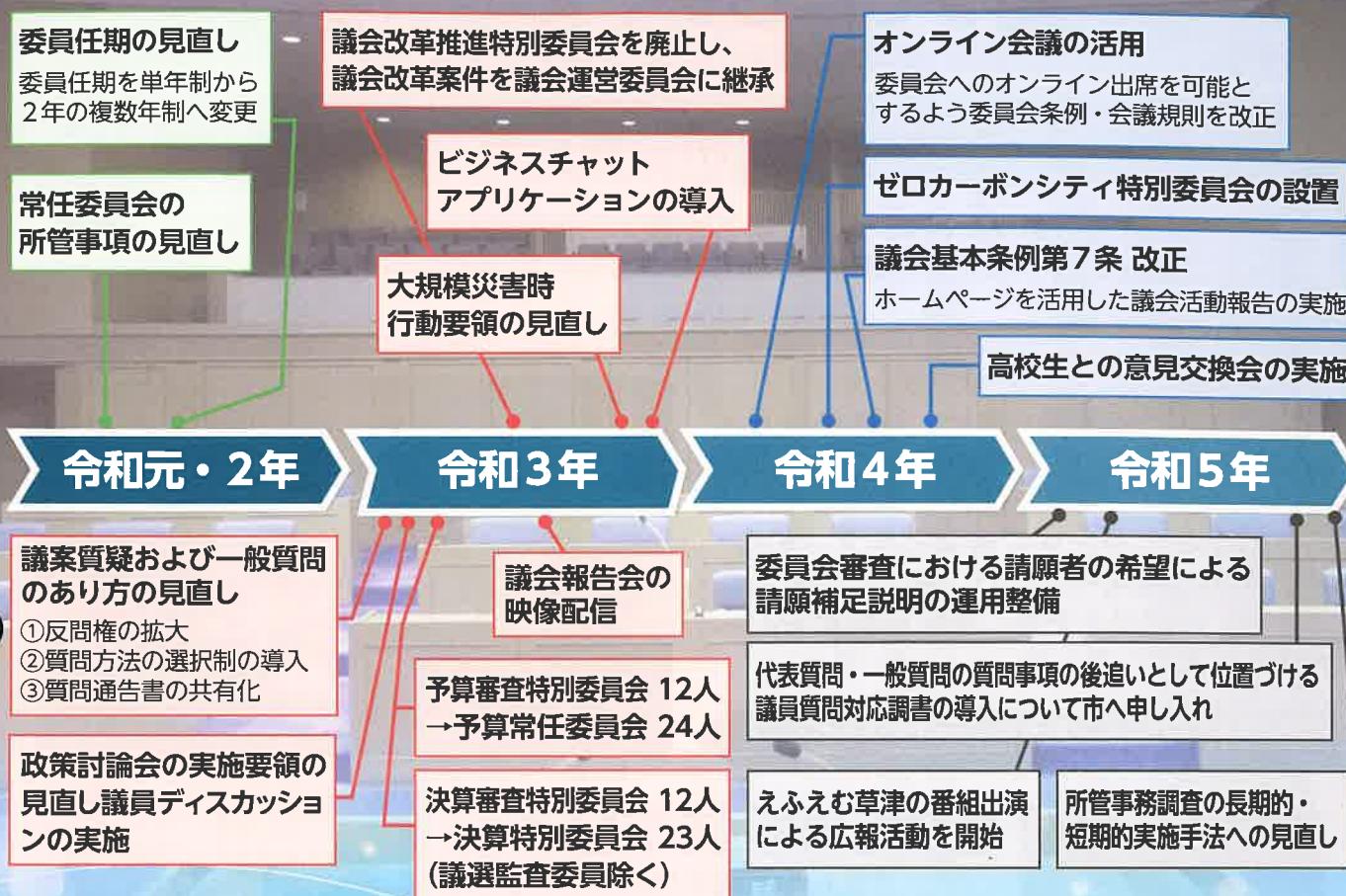


研修を終えて

障害に対する理解不足などから無意識のうちに差別的な対応をしてしまうことは少なくありません。特に知的・発達障害は外見上わかりにくいため理解が進まない現状があることに、今回の疑似体験を通して気づくことができました。

今回の研修を機に、障害のある方への理解をさらに深め、さらなる人権問題の解決に向けた取組を一層推進してまいりたいと思います。

議会改革の歩み



9月10日(日)は、草津市議会議員一般選挙の投票日です。



現在の市議会議員は、9月末をもちまして4年の任期を満了します。市議会では、市長をはじめとする執行部や議員間において議論を深め、市のさらなる発展に取り組んでまいりました。

選挙は、これまでの議会・議員活動に対し市民の皆さんから評価をいただく機会であり、また今後の市政を決める大きな分岐点ともなります。

期日前投票（9月4日～9日）もできますのでご利用ください。



ご意見・ご質問をお聞かせください。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号

TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485 / Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



スマートフォン専用アプリ

マチイロ
(旧広報誌)



SideBooks
(地域本編)



編集後記

今回号は、任期4年の最終章となります。多様化が進む時勢のなかで、今、解決しておかなければならぬことを交えながら個々に掲げた政治課題の達成を目指した質疑は、“議員ひとりだけなく多くの皆様の声によるもの”と、感謝を申し上げます。
ありがとうございました。

草津市議会広報広聴委員一同



第70号

編集責任者／中嶋 泰葉
印刷／大津紙業写真印刷(株)

生徒数	1年	151名
	2年	136名
	3年	129名
	計	416名
PTA会員数	413名	

(令和5年4月1日現在)



声を掛け合い、手を取り合える玉中文化を

校長 奥村 真美

篠を持ち駐輪場周辺で作業をしていると、登校する生徒が「おはようございます。」「ありがとうございます。」「お疲れ様です。」と声を掛けてくれます。今では、その挨拶から始まる会話に喜びと幸せを感じる毎日です。また、先頃の春季大会では、仲間の応援の声が、試合中の苦しさや不安を払拭する力になっていました。さらに3年ぶりの保護者等の観覧は、より良いパフォーマンスを見せようというプレイヤーの意欲に繋がっていました。

コロナ禍での学校生活における行動制限が無くなった今、改めて人と人の繋がりが子どもたちの「夢や目標」を育むと感じます。今年度も、保護者：地域の皆様との連携を大切に学校運営をしてまいります。学校からの情報発信をご覧いただくと共に、子どもたちの教育活動に変わらぬご支援・ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新入生の皆さんへ

PTA会長 中嶋 泰葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

社会生活、学校生活も、コロナ禍以前の日常を少しずつ取り戻してきています。そんな中、新たに中学校生活をスタートされた皆さんには、日々様々な経験や発見をされていることでしょう。中学校の三年間というのは、心も体も大きく成長し、人生の基盤ができる時期もあります。恐れずに多くの事にチャレンジしてください。

保護者の皆様、日頃よりPTA活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

役員一同、PTA活動に真摯に取り組んでまいりますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。



玉川の風

未来の創り手となる心豊かで意欲と実践力のある人間の育成 ~自律・友愛・創造~

学校、家庭、地域をつなぐ
学校だより 第2号
令和5年7月12日



文責 奥村真美

「平和な世界のために 私たちにできることは何だろう?」 ～沖縄を訪れて考えた3年生～



平和宣言文

私たちの住む草津から南西に約1240km、ここ沖縄県読谷村は、梅雨も明け、また暑い夏がやってきました。空港から出たときの暑い空気。バスから見た明るい風景。目に映るすべてが美しい、空と海とがまじりあう自然。

78年前に沖縄であったことを、これまで私たちは勉強してきました。

戦争という、明日のことさえわからない中、毎日をどんな思いで生きてきたのでしょうか。

きっと、それぞれに将来のこと、好きなこと、やりたいこと、家族や大切な人、行ってみたい場所、明日への希望や思いが溢れるほどあったはずだと思います。

その思いを胸の奥底にぐっとしまい込み、苦しい、窮屈な生活をしなければならなかつたのでしょうか。

なぜ、この争いに一般人が巻き込まれなければならなかつたのか。

当時の日本の、今では考えられない常識や人々の気持ちは想像することすらも安易ではありません。

今、ウクライナでは戦争が起きています。

私たちはその様子をニュースで見ては、非日常的な恐ろしい様子から、まるで映画のワンシーンのような錯覚に陥ってしまいます。

しかし、この現実は、現代を生きる私たちにとって決して目を逸らしてはならないものです。

78年前の歴史が、今、再び繰り返されているのです。

思いを継ぎ、声を上げなければならないのです。



<1組>

戦争が生むのは血と涙、
一つひとつの命が奪われていく。
平和が生むのは笑顔と友情、
笑顔の世界こそ平和である。
しかし、平和が永遠に続くとは限らない。
きっかけなんてすぐに生まれる。
それを防ぐのが私たちだ。
私たちにできることは、きっかけを作らないこと。
平和について考える。
相手の立場で考える。
そして笑顔が生まれていく。
世界中に、毎日平和が訪れる時代がくることを、
心から願っている。



<2組>

私たちが見て聞いた、
伝えられたかつての惨状を忘れない。
決して風化させないこと。
過去を未来にしないこと。
すべての人が平和に生きる権利があるとは言うが、
その権利が守られているとは言い難い。
尊いはずの命の価値が失われ、
軽く扱われてしまうことがある。
だから私たちは、この命の重みを忘れないように、価値を
示しながら生きていかなければならない。
ふと思い出し、感謝しながら、命を、他者を、
自分を ^{ひそかに} 羨 ^{うらやま} ろにしないように。
過去を懸命に生き、
その価値を私たちに伝えてくれた人たちのためにも。

<3組>

罪なき人の被害を少しでも減らす。
つらい経験をした人の気持ちを尊重する。
命の大切さについてよく考えて、
生きる事や笑顔があふれる世界を作る。
平和とは戦争のない状態のこと、
戦争をしても誰にも利点がない。
だから意味のない戦争を
決して私たちが繰り返してはいけない。
私たちが、今ここに生きていることを
当たり前だと思ってはいけない。
悲惨な過去があったからこそ、
私たちが今、安心して生活ができている。
そのことを実感しながら、
すべてのことに感謝をして生きていかなければならぬ。
今、私たちは過去の人々にこたえるために、
何ができるか考えるべきだ。
今できることは幸せに生きること。
楽しんで生きること。

<4組>

私たちが、今この瞬間、平和に生きられているのは、何気
ない日常を送るのは、ただの偶然で、今世界のどこか
で戦争が起こっている。
ここ日本でも昔戦争が行われていた。
被害にあった人の苦しみは、
今の私たちには想像できないかもしれない。
戦争について分かり合うことはできなくても、
分かろうと努力することは大切である。
私たちの命は、^{あまた} 数多の人々の奇跡の結晶である。
だからこそ森羅万象に感謝し、
全ての生命がその命を全うし、幸あらんことを願う……



時代を超えた過去の思いを、美化されない事實を、
今を私たちが、この価値を忘れず生きていくことで、
将来の人たちに伝えていくことをここで宣言します。

2023年6月20日

滋賀県草津市立玉川中学校3年生一同



一泊目の夕食後、『カチャーシー』をみんなで踊り、喜びを共有して一体感を味わいました。二日目、地域ガイド風の会の比嘉さんから『命どう宝』という言葉を聞き、その思いを込めてチビチリガマ前で平和の誓いを述べました。三日目の別れ際に、バスガイドさんの歌う『ゆいまーる』に掛け合いを加えて、その歌の意味を実感しました。これら、沖縄での経験全てが、これから的人生を平和に生きて行く、貴重な学びになりました。

2023 玉川萩まつり

ボランティアスタッフ大募集!!

ボランティア活動日:2023年10月21日(土)

※会場設営のみ 10/20(金)が活動日になります。

No.	内容	時間	備考
1	会場設営(10/20)、撤収(10/21)	① 10/20(金)13:30~16:00 ② 10/21(土)14:15~16:00	テント運搬、軽トラへの積み降ろし、テント組立、長机やイス運搬など
2	小学校自転車整理	① 8:30~11:00 ② 11:00~13:30	自転車置き場誘導、整理
3	体育館ステージ発表サポート	① 9:00~11:00 ② 11:00~13:00	体育館出入り口誘導、観客席設置、片付け
4	おはぎ作り、配布	① 9:00~11:30 ② 11:30~14:00	おはぎ作り、配布、片付け
5	玉川せんべい作り、販売	① 9:00~11:30 ② 11:30~14:00	玉川せんべい作り、販売、片付け
6	その他(どの活動でも可能)		※活動時間は相談に応じます。短時間でもOK!

みんなで
盛り上げ
ましょう♪

あなたの力が
必要です！

萩まつりに参加した
ことがない人も大歓迎！



【応募方法】

玉川まちづくりセンター窓口もしくは、電話、FAX、メールにてお申込みください。

【対象＆募集人数】

玉川学区在住の高校生以上の方
それぞれ 5名～20名



ボランティア申込・お問い合わせ窓口

締切日:9月15日(金)

【事務局】玉川まちづくりセンター

草津市野路九丁目7-42

(TEL)564-0189 (FAX)564-0200

(E-mail) tamagawa@machikyou.jp

応募待ってます♪
よろしくお願ひ
します♪



スマホ楽々

2023年

8月29日(火) 教室

13:30~15:30



無料！

場 所: 玉川まちづくりセンター

申込期間: 8月1日(火) 8:30~ 8月22日(火)まで(お電話または
来館にて)、センター開館時間 月~土、午前 8:30~午後 5:15

参 加 費: 無料(ただし事前申込みが必要です)

対 象: ①スマホを未所有で、購入を考えている

②スマホをもっと楽に、楽しく使いたい

上記①・②に該当する草津市在住・在勤のシニアの方

という方にピッタリ!
実際にスマホを借りて
体験できます。

内 容: 新しくスマホを持とうと考えている方には楽しく体験していただきます。

既にお持ちの方には初心に帰って楽に楽しく使えるようお手伝いします。

講 師: ソフトバンク スマホアドバイザー

定 員: 20人(申込み先着順)

お申込み・お問合せ:玉川まちづくりセンター (TEL:077-564-0189)

主 催: 玉川まちづくりセンター

草津市立玉川小学校 学校だより

4つのき

令和5年7月19日

第4号

玉川小学校長

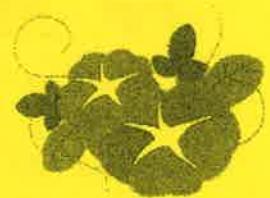
住吉 厚志

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

4月10日の入学式・始業式からスタートした令和5年度の1学期がもうすぐ終わります。私たちの生活を大きく変化させた新型コロナウイルス感染症も5月になり5類へと引き下げられ、社会生活の制限がずいぶんとなくなりました。学校においてもマスクの着用が個人の判断となり、子どもの表情がよくわかるようになってきました。また、大きな声で歌を歌ったり、肩を寄せ合い、力を合わせて活動する学習も多くなりました。換気や手洗いの励行は続けながらも、少しづつ以前の学校の様子が戻ってきた1学期でした。

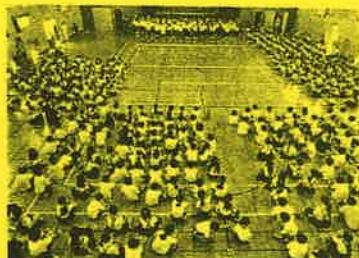
また、6月2日には台風接近にともなう天候不良のため午後からの活動を停止し全校一斉下校を行いました。前日から悪天候が予想されていたものの、いざ予定を変更するとなると様々な課題の対応を迫られました。日頃からの危機管理体制の構築とシミュレーションを十分に行っておくことの大切さを改めて痛感しました。幸い今回は保護者の方の迅速なご協力のおかげで無事故の対応ができました。昨今の急激で、規模の大きな気候の変化に適切に対応できるようしっかり準備をしていきたいと思います。

さて、明日から始まる夏休みですが、子どもたちにとっては自由な時間が増える嬉しい毎日です。お忙しいとは思いますが、じっくりと我が子と時間を共にできる貴重な機会として有意義な時間をお過ごしください。また、朝からずっとゲームに夢中になる毎日では残念です。メリハリのある、そして、思い出深い令和5年の夏休みになるようご支援をお願いします。



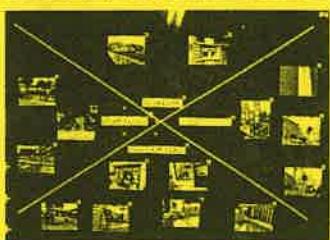
玉川っこ集会～全校児童が集まりました～

7月11日(火)3時間目体育館で本年度第1回玉川っこ集会が行われました。昨年までは会場と教室をリモートで結んでの開催でしたが、この日は4年ぶりに全校児童が体育館に集まりました。4年前の集会のことを覚えている児童も少なく、久しぶりの集会に不安もありましたが、児童会本部の子どもを中心に頑張って準備をすすめました。最初に集会の約束をみんなで確認し、全員でゲームをして一体感を作りました。次に4年生の児童が校外学習(浄水場)で学んだ「水の大切さ」について寸劇を披露してくれました。最後は6年生が校外学習(平和祈念館)で学んだ「平和」について発表し、平和宣言を全員で暗唱しました。発表を聞く子どもたちの姿勢も素晴らしい、たいへん有意義な集会活動となりました。2学期の集会も楽しみです。



ロイロノート

今年度より導入された学習アプリ「ロイロノート」。使い方は様々です。例えば、調べ学習においては、調べた内容を文章にして、その文章に自分が撮影した画像や動画を貼り付け、簡単にプレゼンテーション資料が作成できます。また、先生から出された課題を家で行い、その場で先生に提出することができます。先生は提出された課題を採点・添削し、再び子どものタブレットに送るなど個々の児童とのやり取りが簡単にできます。さらに、いくつかの選択肢の中から一つを選ぶアンケートなどを作成し、簡単に集計結果を手に入れることができます。今まで、おとなが時間をかけて行っていた作業が子どもの手でも簡単にできることが「ロイロノート」の特徴です。これからも益々多くの学習活動で利用できるように研修をしていきます。



6年生特集



6/15(木)情報モラル学習
NTT情報技術推進ネットワークの篠原先生を講師に「ネットワークを正しく安全に利用する方法」を学びました。



7/6(木)マイドリームプラン
キャリア教育でクサツエストピアホテルの笠松料理長にお話を聞きました。最後にふわふわのオムレツづくりの実演を披露していただきました。



6/30(金)ドッジボール大会
体育委員会主催で昼休みに学級対抗ドッジボール大会を行いました。円陣を組んでいざ勝負!白熱しました。



お知らせ

◆タブレットの持ち帰り◆

学校で一人一台貸与されているタブレット端末を夏休みにお家に持ち帰ります。タブレットを使った夏休みの課題が出されます。自主学習にも使用することができるので大いに利用をしてください。使用に際しては、注意事項を守り大切に扱ってください。また、ご家庭での使用時間等に制限をかけることもできます。上手にご利用ください。(本日配布「夏季休業日および冬季休業日における学習者用コンピュータの機能制限について」参照)

◆令和5年度玉川小学校運動会◆

令和5年度玉川小学校運動会は、10月7日（土）午前中の半日開催で行う予定です（予備日は10月8日）。種目等の内容や保護者の方の観戦方法については現在協議中です。詳細が決まり次第お知らせをいたします。

◆令和5年度萩まつり◆

去る6月14日（水）令和5年度第1回萩まつり実行委員会が行われ、本年度の萩まつりの開催は10月21日（土）の一日開催に決定しました。また、この日は昨年とは異なり、小学校の登校日ではありません。したがって自由参加になります。それに伴い、年度当初の年間計画には10月27日（金）が萩まつりの振替休日と記載されていましたが、登校日に変更となります。

環境研修会

草津市立



ごみ問題を通して、
環境のことを
みんなで考えよう！

クリーンセンター見学

&環境講座



焼却ごみ袋有料化の話



ごみの減量のためにどうすればいい？



海のプラスチックごみが魚よりも多くなるって本当？

2023年 9月16日(土)

9:00~12:00

集合：玉川まちづくりセンター

9:00(出発9:10)

草津市の公用バスを利用します



草津市立クリーンセンター（川崎重工業 HP より）

対象：玉川学区住民（6歳以上、小学生以下は保護者同伴）

定員：30名（先着順）

申込先：玉川まちづくりセンター

参加無料

TEL：077-564-0189

FAX：077-564-0200

E-Mail：tamagawa@machikyou.jp

申込期間：8月19日(土)～9月9日(水)



主催：遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議 まち環境部会

問合せ：玉川まちづくりセンター(受付 月～土 8:30～17:00) TEL:564-0189

